



小川っ子

唐津市立小川小中学校
学校だより 第6号
令和2年7月3日発行
文責 高木 俊実

6月19日（金）

小、中それぞれで、小川島駐在所の江口さん、交通安全指導員の前川さんをお迎えして「交通安全教室」を行いました。



小学校では、横断歩道のわたり方、正しい自転車の乗り方、点検方法などを、中学校では、卒業後の島外での生活を見据えて、



道路標識の意味、歩行者を守るための自転車の乗り方などを丁寧に指導いただきました。

6月26日（金） ヒラメ稚魚放流

日光を嫌うヒラメのための遮光カーテンに覆われた養殖場の中には、約33万匹もの稚魚の大群。小川島で約50日間かけ、体長5cm程に成長したヒラメの稚魚を放流しました。放流されたヒラメは、元気よく大海原に向かって泳いでいきました。なお、これらのヒラメは1年で800g～1kgほどに成長するそうです。

放流に向け、準備をしていただいた漁協の前川さんはじめ、ヒラメ養殖関係者の皆様、貴重な経験を提供いただきありがとうございました。



TV会議システムを利用して 加唐中との交流がスタート

6月18日（木）

以前から取り組んでいた「気になるニュース」を、本年度は「TV会議システム」を活用して加唐中学校と合同で行っています。

第1回目は小川中の当番で、発表者は岡田爽愷さん、司会者が清水弘一さんでした。

爽愷さんが取り上げたニュースは、SNSでひぼう中傷が相次いだことを苦に自殺した木村花さんの事件です。

爽愷さんは、デマや暴言の拡散や不用意な書き込みは、この事件に限らず、人を深く傷つけてしまうことにつながることを、自分を含めて未成年者の人はマナーをしっかりと守ること、などを訴えました。

発表のあとは、加唐中学校の生徒を交えて意見交換を行いました。

この取り組みは月に2回程度、継続して行っていく予定です。



レクリエーション大会を行いました

6月26日（金）小中合同で、レクリエーション大会を行いました。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、5月の区民合同体育大会が中止になったため、中学校3年生が「思い出作り」と「小学生にも楽しんでもらう」という目的で企画をしたものです。

当日は、児童生徒と職員が、「イカ」チームと「ガゼ」チームに分かれ「玉入れ」「綱ひき」「大縄跳び」の3種目で争いました。保護者の方や小川島保育園の園児たちにも飛び入りで参加をしていただきました。



【小学生の感想】

- 玉入れがおもしろかったです。保育園生が来てくれてうれしかったです。
- 新しいメンバーで今年最初の思い出ができました。ありがとうございました。
- 大縄跳びは、練習の時はみんなで連続して跳べなかったけど、本番では練習の時よりスムーズに跳ぶことができました。
- 大会ができてよかったです。久しぶりに楽しかったです。
- 楽しかったけど、負けたのでとてもとてもくしかったです。
- 玉入れがぜんぜん入らなかったのと、大なわで一回失敗したのでくやしかったです。
- 中学3年生のみなさん、楽しい会をきかくしていただきありがとうございました。楽しかったです。

【中学生の感想】

- 前日までは、小学生に楽しんでもらえるかどうか不安でしたが、当日は楽しんでもらえたようで、よかったです。
- 実際に、企画・運営を行ってこの大会を催したが、思ったよりきちんとできた。先生方は、いつも、こんな大変な事をされていることに気づかされました。